大阪公立大学医学部附属病院

発行部署:患者支援課 TEL:06-6645-2857



患者総合支援センターたより

〈特集〉入退院支援センター

7/22~

リニューアルオープン



プライバシーに配慮した ▼ブースが増えました▼



待合スペースの拡張と ▼車椅子対応可能ブース増▼



スタッフの増員で体制強化 ▼面談件数も増加▼



! 多職種協働で業務を遂行!

平成29年4月に設置し、入院前オリエンテーションや様々なリスクの評価、社会的 資源の活用の説明などを行っています。

看護師、薬剤師、社会福祉士、栄養部、事務が協働して、患者さんが入院される前から積極的に介入しています。

センター長・副センター長より



平素より患者さんのご紹介をはじめ、患者総合支援センターへのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。当センターは、地域連携・BCC、入退院支援センター、退院支援、各種相談・案内など、複数の機能を有する体制で、患者さんへの総合的な支援を行っております。

このたび、7月22日より入退院支援センターをリニューアルオープンいたしました。入院前の多職種による面談を通じて、患者さんやご家族に療養生活や治療を具体的にイメージしていただき、その情報を医療スタッフ間で共有することで、円滑な医療・看護の提供に繋げています。今回のリニューアルでは、個室相談スペースを増設し、プライバシーに配慮した環境を整えました。また、待合スペースの拡張や車椅子で利用可能な相談室の増設、スタッフの増員による対応体制の強化などを行い、待ち時間の短縮にも繋がっています。より快適にお過ごしいただけるよう、内装には温かみのある色調を採用し、落ち着いてご相談いただける雰囲気となるよう工夫しています。これにより、入院前からの不安を軽減し、安全・安心な医療提供体制のさらなる充実を目指しています。

今後も地域の医療機関のみなさまと連携を深め、患者さんとご家族に寄り添った質の高い支援を提供できるよう努めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第55回 Face to Faceの会を開催しました

7月12日(土)に開催しました第52回Face to Faceの会は、皆さまのご協力により盛況のまま無事終えることができました。改めて感謝申し上げます。

当院では年に3回、医療連携登録医の先生方との情報交換の場としてFace to Faceの会を開催しています。今後も皆さまのご意見をいただきながら、より良い運営を目指して参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。





次回開催日のご案内

第56回Face to Faceの会は

令和7年11月8日(土)

に開催いたします。

詳細は決定次第、当たよりでご案内します

▲会場の様子

診療科 紹介

肝胆膵内科



対象疾患

肝臓:肝障害全般、ウイルス性肝炎(B型肝炎、C型肝炎など)、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性

胆管炎、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患、肝良性腫瘍(血管腫・嚢胞)、肝癌、肝内胆管癌

胆道:胆嚢ポリープ、胆嚢結石症、原発性硬化性胆管炎、胆道癌(胆管癌、胆嚢癌)

膵臓:膵炎、膵嚢胞、膵管内乳頭粘液性腫瘍、膵癌、膵神経内分泌腫瘍

治療

O肝癌治療

従来のラジオ波焼灼術に加えて、次世代マイクロ波焼灼術による積極的な局所治療を 行っています。また、進行肝癌に対する免疫チェックポイント阻害剤を含んだ複合免疫療 法(デュルバルマブ/トレメリムマブ、アテゾリズマブ/ベバシズマブ、二ボルマブ/イピリムマブ)などの最新の化学療法も行っています。

O胆膵癌治療

胆道癌に対する免疫チェックポイント阻害剤を含んだデュルバルマブorペムブロリズマブ/ゲムシタビン/シスプラチンやFGFR阻害薬、膵癌に対するゲムシタビン/ナブパクリタキセル、FOLFIRINOX、nal-IRI+5-FU/LVによる化学治療を行っています。また、積極的にがん遺伝子パネル検査を行い、<u>テーラーメイド型医療</u>もすすめています。

Oウイルス性肝炎

C型肝炎ウイルスは<u>直接作用型抗ウイルス薬</u>により<u>100%近いウイルス排除率</u>を達成できるようになりました。現在は、慢性肝炎のみならず、非代償性を含めた肝硬変まで治療が可能です。該当の患者さんがございましたら是非ご紹介ください。

New TOPICS

おおさか肝炎デー

WHOは、2010年より7月28日を世界肝炎デーと定め、肝炎ウイルスのまん延防止および患者・感染者への差別・偏見の解消、感染予防の推進を図ることを目的とした啓発活動を行っています。肝疾患診療連携拠点病院である当院でも肝疾患相談支援センターを中心に2015年から肝炎デーイベントを行っています。



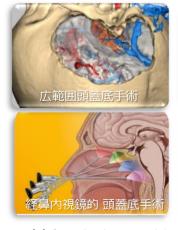




診療科 紹介

脳神経外科

- 髄膜腫、神経鞘腫、頭蓋咽頭腫、下垂体腺腫などの良性脳腫瘍に対する 頭蓋底手術の分野で世界をリードしています。顕微鏡手術に加えて、近年では 内視鏡手術も導入し、患者さまへの負担の少ない手術方法を開発しています。
- ・ 脳血管障害分野では動脈瘤クリッピング、バイパス術など従来の開頭手術に加え、 動脈瘤塞栓術、ステント術などの血管内治療により、高難度病変への対応が 可能です。脳卒中の救急診療にも力を入れています。
- ・ 脊椎・脊髄疾患分野では、変性疾患、腫瘍性病変、血管奇形などへの手術に おいて、幅広い技術と治療経験を有します。
- ・ 脳内に発生した腫瘍(神経膠腫)では、神経機能の解析による術前評価、術中 モニタリングや覚醒下手術を使用した確実な手術、放射線や化学療法の組み合 わせにより、機能温存と腫瘍制御の両立を目指します。
- てんかんやパーキンソン病、不随意運動などの機能外科分野については、薬物治療に加えた手術治療で、患者さまの生活の質を改善させます。DBSやVNSなど新規治療にも力を入れています。てんかん診断の要となる頭蓋内電極留置には手術用ロボットを使用しています。









脳神経疾患でお悩みの患者さまに最適な治療を提供できるように尽力いたします。 どうぞお気軽にご相談ください。

次回予告

★ 診療科紹介(予定) ★ 当院の診療科をご紹介します。肝胆膵内科 脳神経外科

Face to Faceの会 ご案内

次回は 令和7年7月12日 (土) に開催します。

━ 地 域 医 療 連 絡 室 •

月曜日~金曜日 9:00 ~19:00

電話:06-6645-2877

FAX: 06-6646-6215

URL: https://www.hosp.omu.ac.jp/

health_professionals/area/area.html

ご予約方法

『診察予約申込書(診療情報提供書)』をご作成のうえ、 FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。 詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

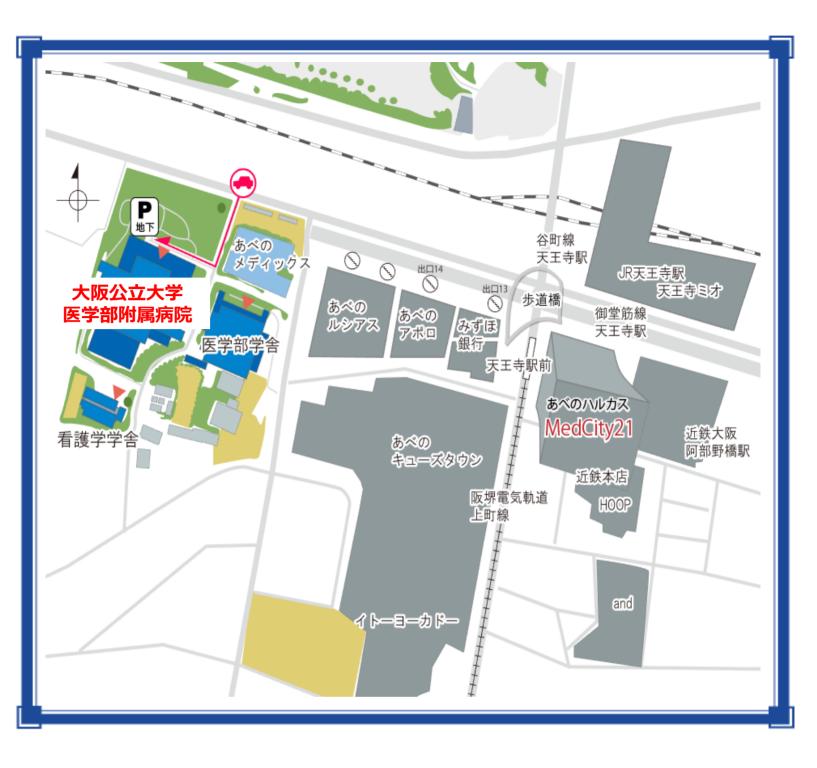
緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、

診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や

別添していただく診療情報提供書はできる限り

詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。

また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。



〒545-8586

大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪公立大学医学部附属病院

TEL: 06-6645-2121(代表)

TEL: 06-6645-2857 (患者支援課)

初診受付時間: 8:45~10:30

休診日: 土曜日・日曜日・祝日・12/29~1/3

<u>送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。</u>